

令和3年度 社会教育委員会（第2回） 議事要旨

◇日 時

令和3年7月13日(火) 午後7時～午後8時45分

◇会 場

生涯学習センター 1階 団体活動室

◇出席者

【委員】土屋委員長、大島副委員長、室伏委員、鈴木委員、小澤委員、増田委員、一之瀬委員、小林委員、中川委員、松本委員、小田委員、志田委員

【事務局】大塚生涯学習課長、勝又主席主査

◇会議次第及び内容（○は委員の発言）

1. 開 会 （事務局）

2. 委員長あいさつ

本日は、学校教育課の小濱指導主事にコミュニティ・スクールについての説明をしていただけたことになりました。新任委員の方は初めて、引き続いての方は復習となりますが、どんどん質問していただければと思います。事務局からも後ほど説明があるかと思いますが、今年度の関ブロも、都内の方限定で実施しそれ以外の方はWEB開催ということになってしまいました。また、県社会教育委員連絡協議会の個人負担金を集めさせていただきます。

3. 報告事項

- ・各種委員会委員会の会議報告

特になし

（協議事項は委員長が進行）

4. 協議事項

- (1) 諮問「学校を核とした地域づくりのための環境整備」について

（事務局より説明）

前回の社会教育委員会で話し合っていた今期の研究テーマについて、課内及び教育委員会内で検討した結果、教育委員会から諮問として伺うことになった。

【諮問事項】

学校を核とした地域づくりのための環境整備

【諮問理由】

令和4年度より市内全ての小中学校においてコミュニティ・スクールが設置される計画となっており、地域学校協働本部との一体的推進が求められています。

コミュニティ・スクール設置を契機とし、「学校を核とした地域づくり」をより一層推進していくことが重要になります。

裾野市教育委員会が「学校を核とした地域づくり」のために取り組んでいく施策・活動に関するご意見をいただきたく、社会教育委員会に伺います。特に、地域学校協働活動の推進及び放課後子供教室の実施を目指す中で必要な体制等の環境整備について意見を伺います。

○期限は？

→ 2年で答申を出す。令和4年から全校でコミュニティ・スクールが実施されるため、中間報告のような形をとりたい。

○放課後子供教室の実施は市として何か計画があるのか？

→ 具体的な計画はないが、第2期裾野市教育振興基本計画においても主な取組として記載しているのでやらなくてはならないと考えている。

(2) 裾野市のコミュニティ・スクールについて

(学校教育課小濱指導主事より説明)

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」

- ・時代の変化に伴い学校と地域の在り方が変化している。学校と地域の連携・協働が必要。
- ・コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校のことであり、学校代表と地域代表が学校運営や運営への必要な支援について、子供たちがどう育ってほしいかを話し合う場である。
- ・裾野市では令和3年度に先行導入校(4校)でスタートした。令和4年度には市内全ての小中学校をコミュニティ・スクールにする。
- ・これまでも、授業でのゲストティーチャーやボランティア(学校に対する多様な協力活動)やすそのん寺子屋など、地域学校協働活動として行っていることがあるので、それらを整理したり新たにチャレンジできそうなことを出し合ったりして、できることから始めていく。
- ・地域の力を学校に、子どもたちの力を地域に返していく。
- ・今までは学校への支援がメイン(学校支援地域本部)だったが、今後は連携・協働を目指していく。裾野市も昨年度、「学校支援地域本部」から「地域学校協働本部」に名称を変更したが、実情はまだ変わっていない。これから充実させていきたい。

○地域との関わり、現在どのように働きかけているのか？ また学校評議員との違いは？

→ 学校運営協議会を設置した学校では、学校評議員会から切り替えている。メンバーは同じ場合も違う場合もある。地域との関わりは模索中だが、おたよりを回覧したり、区長会へ報告したり等行っている。今後、講演会へ招待する等地域の方への勉強の機会を提供することやPRパンフレットの作成を予定している。

○学校が大変になるのではないか。

→ 学校が負担にならないような仕組みづくりをしたいと考えている。先行導入した学校では、学校運営協議会のメンバーに長くやっていただける方を選んでいる。CSディレクターが動いてくれて(地域とのコーディネート)、教員の負

担が減っている。

学校の規模、地域との距離が違うので学校ごとにやりたいことが何なのか話し合ってもらいたい。学校が地域に任せていけるようになることも重要だと思う。

短期間で成果は出ないだろうと思う。教員は異動により数年で入れ替わってしまう。地域はずっとあるので長くやって関わってほしい。

○CS ディレクターの立場、業務内容は？

→ 週 10 時間勤務で予算を組んでいる。学校運営協議会の事務局としての役割を担っている。設置要綱を設けており、これにより身分を保障している。具体的な内容は学校ごと、CS ディレクターごとによって変わってくる部分がある。

○学校から地域へ向けてのコーディネートは求められている？

→ 求めている。スクールコーディネーターと協力して行う。地域の意見を CS ディレクターが間に入ることで言いやすくなったという声もある。

○CS ルームの設置状況は？

→ 東小は設置を計画している。富二小と須山は場所をどうするかということもあり悩んでいる。場所は校内の入りやすいところでないといけない。地域と学校の情報共有スペースとして、学校の思いがあれば支援していきたい。

○CS ルームの防犯は？

→ 最低限の管理は必要になると思うが乗り越えていけると考えている。心配はあると思うが、地域の人たちが入ることによって逆にいろんな人の目が入っていくという効果も。

(生涯学習課長より諮問意図について説明)

今までにない仕組みを作っていかなければならないので、今は手探りの状態。学校、地域ごとに状況が違う。それぞれの地域にあったやり方で、地域を担う子どもを育てる。誰がどうやって地域に子どもを受け入れていくのか。場所として学校を使うのか公民館を使うのか、どのような仕組みになっていったらいいか、地域目線で協議をしてもらいたい。

事例を集めたりしながら、地域づくりのためにコミュニティ・スクールを通してどのようにできるかを次回から考える。提言書からも取り入れながら検討していきたい。それぞれ提言書を読んでほしい。

5. その他

・市民活動の集い（実行委員の選出）について

委員長、副委員長、小田委員、志田委員、増田委員の 5 名
諮問に関わるような内容で検討していく

・東部地区社会教育委員等研修会について

一日研修から午後半日研修に変更になった。出欠は 7/26（月）が提出期限。

・関東甲信越静社会教育研究大会東京大会について

会場参加は都内の方に限定し、都外の方向けに録画配信を実施する方針となった。また、全国社会教育研究大会石川大会についても、県外の方向けにはオンラインで実施する方向。

- ・静岡県社会教育委員連絡協議会個人負担会費について
500円/1人を集金する。8/20（金）までに事務局へ提出を。

- ・その他

県社会教育委員連絡協議会全体研修会の動画配信が始まっている。講師への質問は8/19（木）までに生涯学習課へ。

社会教育基礎研修会については、講義映像の配信及び実践発表資料の配布という方式に変更して行う。

- ・次回の開催日について

9月7日（火）19:00～ 生涯学習センター 2階 学習室2 において開催

9. 閉 会（大島副委員長）